



辟雍会通信

〒184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学辟雍会
hekiyou@u-gakugei.ac.jp

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない時に、梅雨の豪雨により各地で甚大な被害が出ました。辟雍会会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、会員の皆様の無事をお祈り致します。

会長に就任しました4月早々に緊急事態宣言が発令され、大学が入構制限されましたため、辟雍会事務所も一時閉鎖いたしました。このため、大学に集まっての会議の開催ができず、全てメール審議としました。このような状況下で会員の皆様との交流を図るため、この辟雍会通信を発行することにしました。辟雍会通信では、本会や大学と周辺地域等で話題となっていることをお知らせしていきたいと思っております。これに各支部の情報も

加えて、支部会員の方々の情報交換の場としても活用していただけたら幸いです。

4月から大学では全ての授業をオンラインで行ってきました。先生と学生のほとんどが初めての経験でしたので、かなり苦労されていましたが、早く通常授業が行われる環境が戻ることを願っていますが、オンライン授業の中から新しい試みも生まれました。実験は実験室で行うというのが常識でしたが、物理学実験をオンラインで行うための工夫を下で紹介してもらいます。

暑くてマスクをするのも辛い時期ですが、3密を避け、十分ご自愛ください。

(辟雍会会長 長谷川 正)



物理学実験授業のオンラインによる在宅実施

緊急事態宣言を受け、本学では、物理学の実験授業をもオンラインで遠隔実施することになりました。従来は、自宅では決まらずに実験が大学の高価で特殊な装置を使ってできることを声高に宣伝しておりました。実技科目であるにもかかわらず、学生が大学に登校しないオンライン講義とすることは仰天するばかりでした。物理学教室の学生実験担当者間で在宅実験を実現するための一つの方法として「電子工作」の電子パーツ一式を個別に配布することが考案されたのは、本年4月27日(月)のことでした。今年度春期の受講学生数は2クラス、合計70名、ほとんどが1年生です。実施予定は、第6,7回目で、春期火曜のクラスは6月16,30日(火)及び春期木曜のクラスは6月18,25日(木)でした。

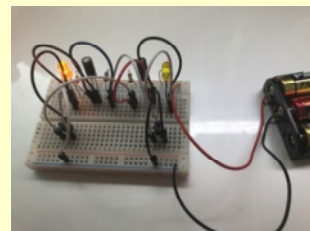
実施に際し、学生の個人情報最新を保護しつつ活用することに細心の配慮を致しました。実験装置の郵送手続きが済んだことを学生に報告すると、「オンラインでありながら実験装置を使って実験に取り組めるという環境に非常に感謝しています。」というポータルメッセージを受け、学生からの期待をも確信しました。

実験の手引書を在宅実験向けに詳細な説明を付加してWebClassにアップロードし、学生からの質問対応は、Microsoft Teamsによって、3~5限(12:50~17:40)の定時で行い、その後も学芸ポータルメッセージで受け付けることにしました。各自で実験・解析を行っていただきましたが、従来の実験形態同様にこちらで指定した班(グループ)のメンバーと今回はMicrosoft Teamsでつないで、共同で実施しても構わないことにしました。学生同士は自主的にLINEでも連絡を取り合っていたようです。我々は時間外にもMicrosoft Teamsによって、学生からの質問にWebカメラや画面共有、及びチャットを使って臨機に開かれた方法で応えることもできました。従来は、夜遅くまで予想との整合や好奇心に基づいた追及をする学生が週替わりで若干名ずつ、実験担当教員の勤務時間、学生の帰宅時

間、時には終電をも気にして、実験室の解錠から施錠までを教育的な価値観で現場対応してきました。在宅実験では、学生は在宅ですので、これら懸念事項からまだ明るい夕方に自動的に一切解放されたことは驚きでした。従来は班で実施することにより途中の困難を右に習えて何とかになっていたことや親切な人が来て本人の理解を超えてチョチョイのチョイと手を貸してくれることもあったでしょう。在宅実験では全ての作業と困難を自分の課題として自覚することになり、学生の実験技能向上と意識を刺激し、教育効果が増したはずで、実験中の試行錯誤を克服してゆくスリルと喜びと達成感をも届けることができたのではないのでしょうか。もしかすると物理学実験授業の在宅実験はいつの間にか内閣府が提唱している Society 5.0 時代を実現したのかもしれない。

実施に至るまで、物理学実験の全担当者、TA(大学院生による実験補助者)、業者、学系第二係(旧自然科学系事務係)、物品受取所、教務課、自然科学系長、及び学生課と連絡を取り合いました。話を聞いていただき、一緒に考え、賜ったご助言と協力があつて実施日を迎えたこと、職場の皆様の優しさを実感しました。

2名の学生から在宅実験の様子がわかる写真を特別にいただきました。写真は一仕事を成し遂げた安心感が漂っているようです。感謝を込めて、皆様にご紹介する次第です。



(物理科学分野教授・辟雍会事業部長 荒川 悦雄)

News

宮城県支部「宮城辟雍会」が設立 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている会員学生を支援

令和2年7月20日開催(メール会議)の理事会で、宮城県支部の設立と新型コロナウイルス感染症の影響を受けて生活に困っている会員学生に10万円を無利子で貸与することが承認されました。支部数は28となりました。宮城県出身の在学学生も支部会員になることができます。支部を通して地元の情報を得ることができますので、是非、支部会員となることを考えてください。宮城県支部の代表者は高橋晃さんです。連絡先は、本会事務所(hekiyou@u-gakugei.ac.jp)にお問い合わせください。